令和８年度　第１回芦屋町健康づくり推進協議会議事録

会議名	令和８年度　第１回芦屋町健康づくり推進協議会
日時	令和８年９月 14 日（月）　14：00～15：10
会場	芦屋町役場　３階　31 会議室
議題	（１）　令和７年度保健事業報告について（資料１） （２）　令和８年度保健事業計画について（資料２） （３）　その他
委員の出欠	出席者 10 名　欠席者 2 名
合議・決定事項	（１）　令和７年度保健事業報告について ・事務局より説明を行い、委員の意見を求めた。 （意見等は下記のとおり） （２）　令和８年度保健事業計画について ・事務局より説明を行い、委員の意見を求めた。 （意見等は下記のとおり） （３）　その他 議題、意見等なし。

議事

（１）　令和７年度保健事業報告について

（事務局）

資料１を用いて、事務局より説明。

【質疑・意見等】

●母子保健事業について

（委員）

HPV ワクチンの接種率が全国的に低い状況である。子宮頸がん罹患を減らせるものであるが、事業が始まったころに筋肉注射で痛かったことや副反応ついてメディアで大きく取り上げられた。欧米では、ワクチン接種は進んでいる。

医師会でも課題として認識しているため、委員の方々からも身近な人へ勧めていただきたい。

接種率は、現在の３割からもう少し向上させるべきである。

（事務局）接種率向上にむけ、勧奨方法については検討していく。

（委員）

乳幼児健診、0 歳児健診以降受診率が下がっていくのはなぜか。

（事務局）

0 歳児健診では育児休暇中で受診しやすいが、それ以降は育児休暇が終わるため仕事の都合で受診が難しくなる人もいる。健診に来ることができなかった人には、翌月の健診を案内したり、時間外の訪問や自身で病院受診した結果を見せてもらう等の対応をしている。

●成人健診・健診事業について

（委員）

特定健診などで県内順位とあるが、何市町村の中の順位か。

（事務局）

60 市町村

（委員）
特定健診の受診率はいい状況まできている、担当課が頑張っている成果だと考えている。
データヘルス計画での目標が 60%であったが、令和７年は 44%。令和５年から目標値がさがっているのは目標として高すぎたからなのか。
（事務局）
令和６年度に第３期データヘルス計画を策定し、目標値を見直した。令和 11 年までに 60%にと国が示しているのでそこを目指している。
（委員）
動脈硬化の有所見者について芦屋町はよくない。肥満が多く、高血圧も多い。
メタボが増えており、県内ワースト４位となっている。有所見者割合が悪いことをもっと宣伝すべきだと考える。役場がもう少し旗振りをしていってほしい。
（事務局）
まずは、特定健診の受診率向上に引き続き取り組んでいきたいと考える。
（委員）
がん検診の受診率は、胃がん検診が高いが他の検診は低い。もう少し増えてほしい。
胃カメラは、時間はかかるが、大腸がんは時間がかからずできるのでもう少し増やしていくよう頑張ってほしい。

●成人保健事業について
（委員）
食生活改善推進会の会員人数も増えたので少し事業もやりやすくなった。しかし、講座を受けないと会員活動ができない。来年度講座があるのでその受講をするとまた活動が可能となる。
（委員）
講演会や出前講座の参加者をもっと増やすよう勧奨をしていってほしい。

●疾病対策について
意見なし。

●予防接種事業について
（委員）
帯状疱疹の予防接種についてはテレビでもよく言われているが、受診率はあがってきているのか
（事務局）
令和７年度から始まったのでまだわからない。
（委員）
帯状疱疹は罹患すると痛みが強い、受けておくべきだと思う。ワクチンはどちらでもいいが有効率は組み換えワクチンの方がよい。
（委員）どちらのワクチンもよさはあり、どちらかとはいいきれない。かかると厄介で、治るまで長くかかるのでぜひ予防をしてほしい。
（委員）
新型コロナワクチンについては、接種率が下がってきているが、ウイルスが変異もしているのでワクチンの効果がわからず、そのような認識があるからか、下がってきているのではないか。

（２） 令和８年度保健事業計画について
（事務局）
資料２を用いて、事務局より説明。

【質疑・意見等】
（委員）5 歳児健診を今年度すすめてもらっているが、要フォローの支援先が不足するのではないかといわ

れている。保健所では、乳幼児相談診査を本庁舎及び分庁舎で３回ずつ実施している。分庁舎では、小児の発達神経医師の枠を拡張しているので、対象者がいれば利用していただければと思う。
（事務局）
対象者がいれば案内をおこなう。
（委員）
有効かつ強弱をつけて取り組みをおこなってもらえればいいと考える。
（委員）北九州市が子育てしやすい街づくりを宣伝している。外から人を入れる努力をしている。芦屋町もこのような取り組みをしているのでぜひもっと宣伝してほしいと考える。学校教育や生涯学習などの機関と連携しながら若者が入ってくるような取り組みを頑張ってほしいと思う。
（事務局）
企画政策課のシティプロモーション係と検討はおこなっている。
（委員）
せっかくいい取り組みをして頑張っているので宣伝していってほしい。
どのような宣伝がいいと考えているのか。
（事務局）
芦屋町では、補助金ガイドブックを作成している。また、ホームページ上にもう少しわかりやすいものがあるといいと考えている。
（委員）
アナログだが、口コミは大切である。それぞれの委員から広めていってほしい。
（事務局）
参考にしていきたいと考える。

（３） その他
【質疑・意見等】
意見なし